

RESEARCH REPORT ON A STUDY OF  
VOLUNTEERS AT KOBE MARATHON 2012

『神戸マラソン 2012』  
ボランティアに関する調査報告書

2013年2月

兵庫体育・スポーツ科学学会  
ひょうご地域スポーツ振興プロジェクト  
『神戸マラソン 2012 ボランティア調査グループ』

神戸マラソン実行委員会

# 『神戸マラソン 2012』ボランティアに関する調査報告書

## 調査の概要

### 1. 調査目的

本調査は、神戸マラソン 2012 におけるボランティア参加者の意識と活動状況を分析することを目的としている。特に、動機、満足、次回大会でのボランティア参加意図などを中心に分析を行い、今後のボランティアマネジメントに役立つ基礎資料としたい。

### 2. 調査内容

- 1) 属性：性別、年齢、職業、居住地
- 2) 本大会におけるボランティア活動について：  
応募形態、担当業務、情報源、応募のきっかけ、ボランティアへの応募動機、ボランティア参加後の満足
- 3) 次回大会への参加意図と昨年の活動状況：  
来年の神戸マラソンボランティアへの参加意図、昨年の神戸マラソンボランティア活動の経験
- 4) スポーツ活動状況：スポーツ実施頻度、フルマラソンの経験
- 5) 満足度のクロス集計結果：  
満足と性別、満足と年齢区分、満足と応募形態、満足と再参加意図
- 6) 再参加意図のクロス集計結果  
再参加意図と性別、再参加意図と年齢区分、再参加意図と応募形態
- 7) 参加後の感想、意見：自由記述

調 査 項 目

要因群	項 目	カテゴリー
属 性	回答者の属性	1.性別 2.年齢 3.職業 4.居住地
参加状況	情報源	1.友人 2.職場 3.学校 4.新聞・雑誌 5.テレビ・ラジオ 6.地域の広報誌 7.ポスター・ちらし 8.インターネット 9.その他
	応募のきっかけ	1.自分の意志 2.身近な人のすすめ 3.学校 4.学校以外の所属団体 5.その他
応募形態と 担当業務	応募形態	1.個人ボランティア 2.団体ボランティア(高校) 3.団体ボランティア(大学) 4.団体ボランティア(一般)
	担当業務	1.コース沿道整理 2.給水・給食 3.手荷物預かり・返却 4.給水サービス(スタート) 5.更衣所管理 6.インフォメーション 7.ランナーサポート 8.案内誘導 9.ランナーサービス
動 機	ボランティアの動機 (21項目)	1.当てはまらない 2.あまり当てはまらない 3.まあ当てはまる 4.非常に当てはまる
満足	参加後の満足 (18項目)	1.当てはまらない 2.あまり当てはまらない 3.まあ当てはまる 4.非常に当てはまる
来年の参加意図	ボランティア参加	1.はい 2.いいえ 3.わからない
昨年の参加状況	ボランティア参加	1.はい 2.今回が初めて
スポーツ活動状況	スポーツ実施頻度	1.週3回以上 2.週1-2回 3.月1-2回程度 4.3ヶ月に1-2回程度 5.年に1-2回 6.行わなかった
	フルマラソンの経験	1.はい 2.いいえ
活動後の感想	ボランティア活動後の 感想、意見、要望	自由記述

### 3. 調査対象

- 1) 母集団：神戸マラソン 2012 で活動した登録ボランティア
- 2) 標本数：6,718 名

### 4. 抽出方法

ボランティア登録者数の約 10%を算出し、応募形態、担当業務それぞれが約 10%の割合で抽出できるように、あらかじめ配布先を決定し、ボランティア活動終了後アンケート調査票に記入してもらった。

### 5. 回収結果

回収数：740 票

個人ボランティア：115 票

団体ボランティア（高校）：204 票、団体ボランティア（大学）：170 票、団体ボランティア（一般）：163 票

オフィシャルスポンサー：88 票

### 6. 分析方法

データの分析は単純集計とクロス集計を用いた。有意差検定には t 検定および F 検定を用いた。

### 7. 研究組織

- 1) 組織

兵庫体育・スポーツ科学学会 ひょうご地域スポーツ振興プロジェクト

- 2) 『神戸マラソンボランティア調査グループ』メンバー

松村浩貴、土肥 隆、伊藤克広（以上：兵庫県立大学）、福田一儀（神戸市立中央体育館）、船越達也（大阪国際大学）、勝木洋子（神戸親和女子大学）、福本直子（神戸大学非常勤講師）、小野昌二（社会福祉法人イエス団）、

### 8. 調査協力

神戸マラソン実行委員会

## 調査結果の要約

1. 性別は、男性と女性の比率はほぼ同値であった。  
年齢構成は「20才未満」が最も多く、10歳代～20歳代が6割強を占めていた。逆に50歳以上の中高年層は2割弱であった。  
職業は学生が最も多く、約半数を占めていた。  
居住地は神戸市内が最も多く63.0%であった。神戸市以外の兵庫県からは33.6%で、兵庫県内の居住者が9割以上を占めていた。
2. 情報源は「学校」「職場」「友人」が多かった。新聞、テレビ、インターネットなどのマスコミによる情報よりも、口コミでの情報の方が多かったことが伺える。
3. 応募のきっかけは「学校から」が40.7%で最も多く、「自分から」が32.8%であった。ボランティアの約3割が自発的な参加者であり、周囲からの勧めがきっかけとなり参加している者がほぼ倍の6割程度であった。学生ボランティアの多くは学校（教員など）から勧められて参加したことが推察できる。
4. ボランティアへの応募動機は「日常では得られない経験」が最も高く、「スポーツが好き」「神戸マラソンの成功に役立つ」「人のために役立つ」「社会に貢献」「地域に貢献」で高い値を示した。逆に、「ランナー抽選にはずれた」「知人からの勧誘・紹介」「仕事に役立つ」は低い値を示した。「非日常」「スポーツ」「役立つ」「貢献」など、非日常の経験ができることや大会の成功、地域・社会に貢献したいという反応が高かった。一方で、「ランナー抽選にはずれた」や「キャリア」に関する項目は低い値を示した。
5. ボランティア参加後の満足は「人のために役立った」が最も高く、「日常では得られない経験」「地域に貢献」「他人と協力して目的を達成」で高い値を示した。逆に、「仕事に役立った」「自己の再発見」「人的ネットワーク」で低い値を示した。動機と同様に、「非日常」「役立つ」「貢献」の項目で高い満足度を示し、「キャリア」の項目での満足度は低かった。また、「運営への評価」の3項目のうち、「事前の情報提供」の項目だけ満足度が低かったことから、事前説明会やホームページなどでの情報提供を的確にすることが今後の課題であると思われる。
6. 来年の神戸マラソンボランティアへの参加意図は「参加したい」が56.8%、「参加したくない」が9.5%、「わからない」が33.8%であった。ボランティア参加者の半数以上が来年も参加したいと回答していたが、逆に約1割の参加者は、来年は参加したくないと回答していた。また、3割強の参加者は次回参加の可否を保留している。
7. 昨年の神戸マラソンボランティア活動の経験は、昨年も参加した人が31.2%で、今回が初めての参加であった人が68.8%であった。3割強が昨年に引き続きの参加であるが、この割合を増やしていくことが重要である。リピーターが増加することは、その経験などからボランティア活動の質を高めることにも繋がりがやすく、好循環が期待される。
8. 満足度と性別は、「女性」の方が満足度が高かった。
9. 満足度と年齢区分は、18項目中17項目で「20-29歳」の平均値が最も高い値であったことから、若年層の満足度が高かったことが示された。特に、「キャリア」「自己陶冶」に関連する因子で大きな差がみられた。一方、18項目中12項目で「30-59歳」の平均値が最も低い値

であったことから、「30-59 歳」の層の満足度が一番低かったことが示された。

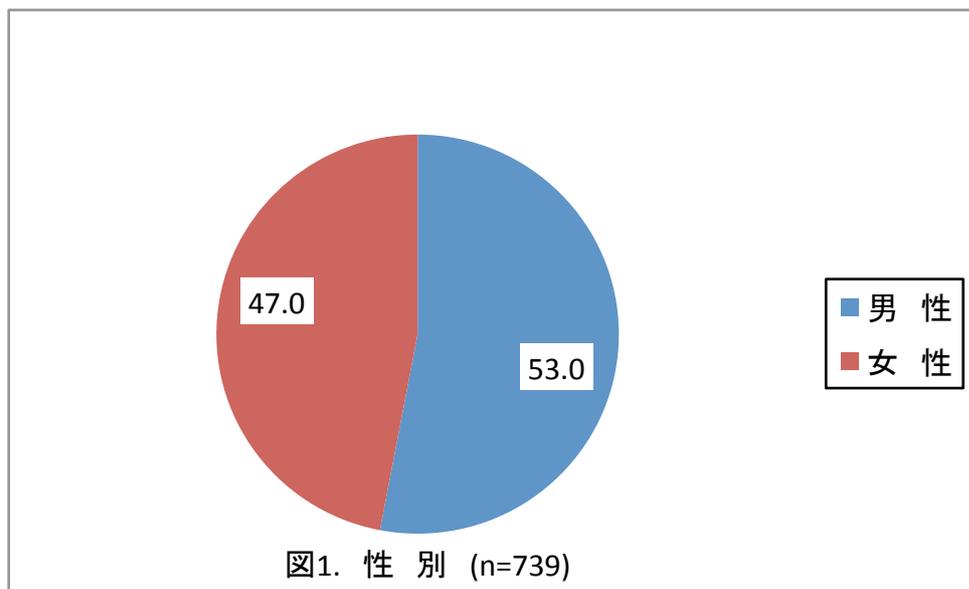
10. 満足度と応募形態は、18 項目中全ての項目で「団体ボランティア（高校）」、もしくは「団体ボランティア（大学）」の平均値が高い値を示したことから、年齢区分と同様に、若年層群の満足度が高かったことと関連していると思われる。一方、18 項目中 15 項目で「団体ボランティア（一般）」の平均値が最も低い値であったことから、「団体ボランティア（一般）」の満足度が低かったことが示された。
11. 満足度と再参加意図は、18 項目中全ての項目で、「はい」と回答した群が高い値を示し、再参加意図のある群は満足度が高いことが明らかになった。一方、18 項目中 17 項目で「いいえ」と回答した群が最も低い値であったことから、再参加意図のない群の満足度が低かったことが示された。
12. 再参加意図と性別は、「はい」と回答した人は「女性」の方が多く、「いいえ」と回答した人は「男性」の方が多かった。統計的にも性別で有意差がみられ、女性の方が男性より再参加意図をもった人が多かったことが明らかになった。満足度において、女性の方が男性より満足度が高かったことから、それが再参加意図にも反映されていることが推察される。
13. 再参加意図と年齢区分は、年齢の高い層の方が再参加意図が多かった。統計的にも年齢区分で有意差がみられ、年齢の高い層が低い層より再参加意図をもった人が多かったことが示された。「29 歳以下」の満足度は高かったが、再参加意図は低く、「60 歳以上」の満足度は低かったにも関わらず、再参加意図は高かった。年齢区分において、満足度は再参加意図に反映していなかった。
14. 再参加意図と応募形態は、「個人ボランティア」と「団体ボランティア（大学）」で再参加意図をもった人が多く、「団体ボランティア（高校）」では再参加意図をもたない人が多いことが明らかになった。高校生の満足度は高かったが、再参加意図は低く、満足度は再参加意図に反映していなかった。その要因として、応募動機の「職場、学校の活動の一環」が高い値を示していることから、純粹に参加したい学生と学校の活動の一環で参加している学生が混在していることが考えられる。したがって、満足度は高かったものの、次回の参加意図とは結びつかなかった可能性が推察される。さらに、「ボランティアに興味がある」の項目でも、大学生に比べ高校生の値が低かったことから、大学生と高校生の再参加意図に違いがみられた要因の一つと考えられる。

前項の年齢区分で、若年層の満足度は再参加意図に反映していなかったが、高校生の再参加意図が低かったことがその要因であると考えられる。

## 1. サンプルの属性

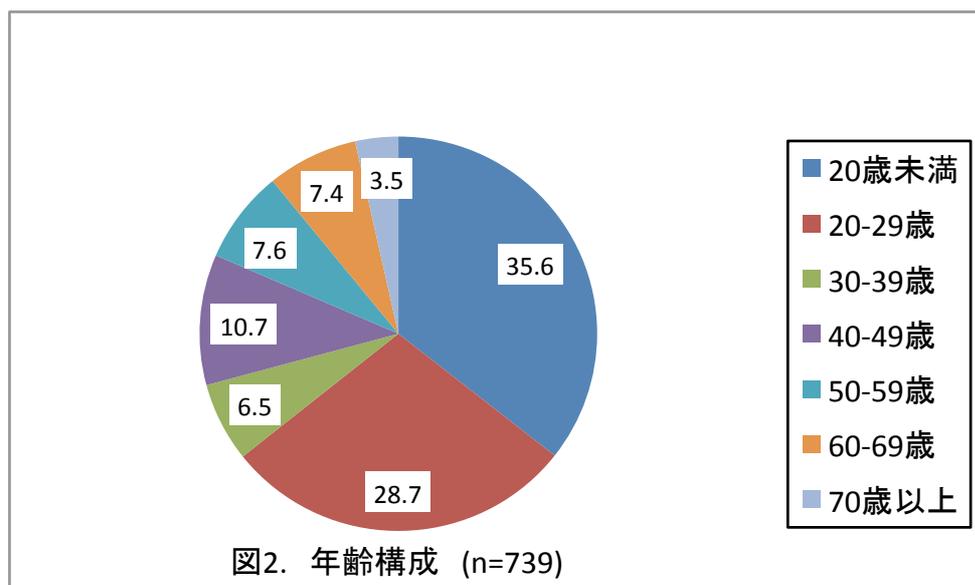
### 1) 性別

性別は、「男性」が 53.0%、「女性」が 47.0%で、男女比はほぼ同値であった（図 1）。



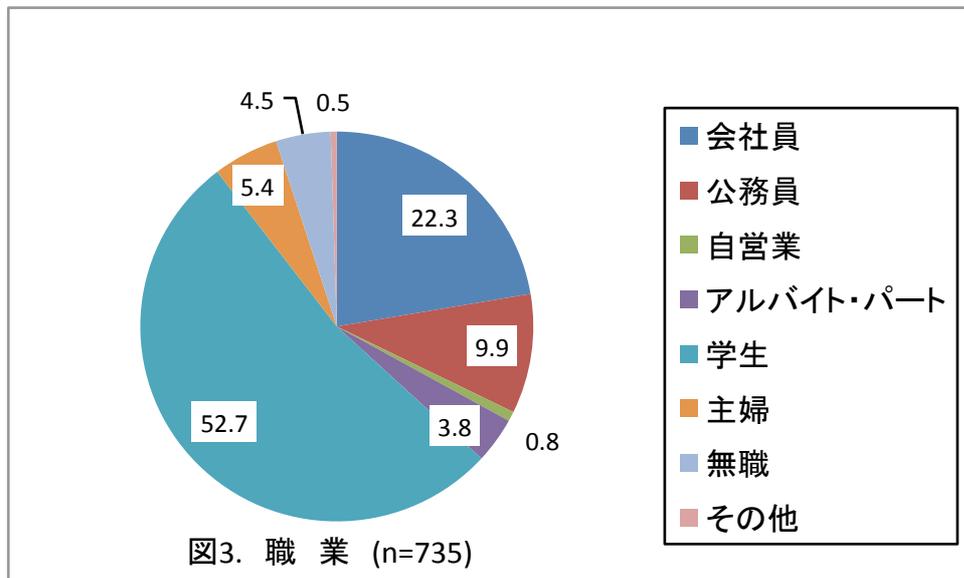
### 2) 年齢構成

年齢構成は、「20歳未満」が最も多く 35.6%、次いで「20歳代」が 28.7%、「40-49歳」が 10.7%であった。（図 2）。10歳代～20歳代の若年層が 6割強（64.7%）を占めていた。また、50歳以上の中高年層は 2割弱（18.5%）であった。



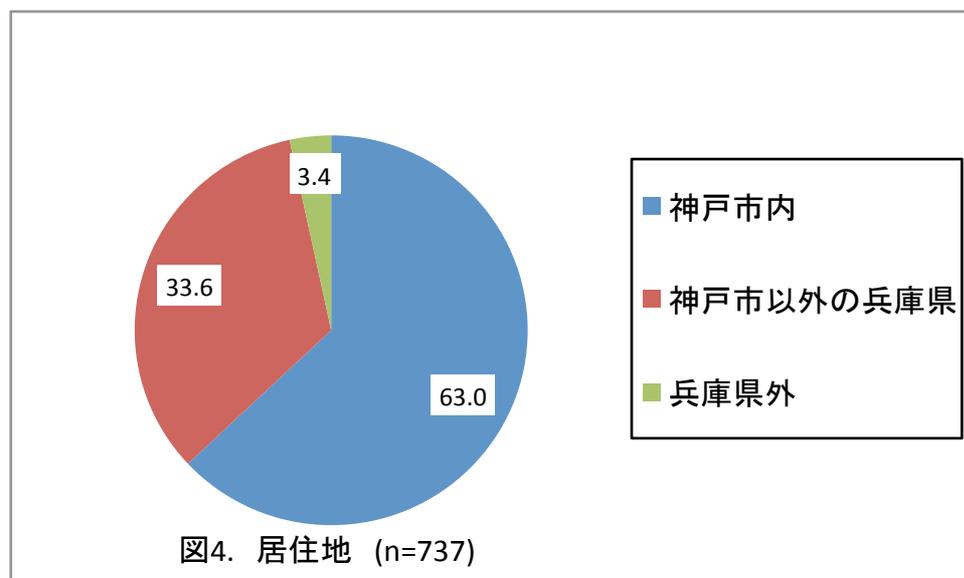
### 3) 職業

職業は、「学生」が 52.7%で最も多く、次いで「会社員」が 22.3%、「公務員」が 9.9%となっている（図 3）。



### 4) 居住地

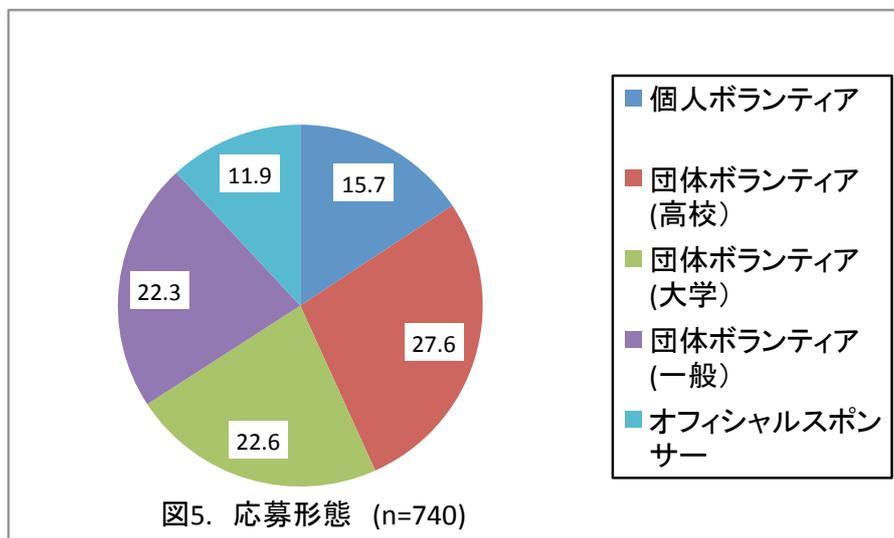
居住地は、神戸市内が 63.0%、神戸市以外の兵庫県が 33.6%、兵庫県外が 3.4%であった（図 4）。6 割以上が神戸市在住で、9 割以上が兵庫県在住の参加者であった。



## 2. 本大会におけるボランティア活動について

### 1) 応募形態

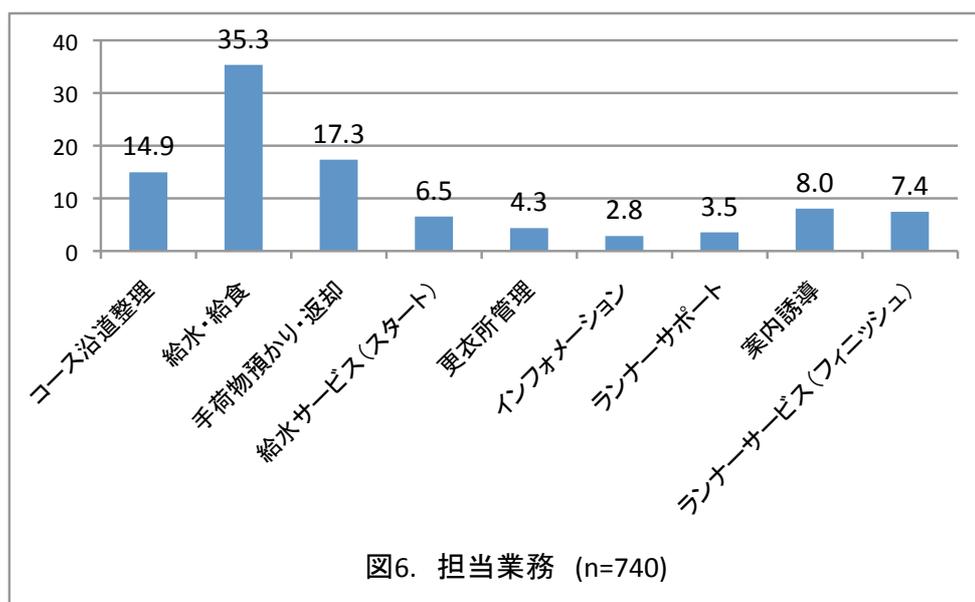
応募形態で最も多かったのが「団体ボランティア(高校)」で27.6%、「団体ボランティア(大学)」が22.6%、「団体ボランティア(一般)」が22.3%、1-4名の登録者の「個人ボランティア」が15.7%、「オフィシャルスポンサー」からのボランティアが11.9%の順であった(図5)。



### 2) 担当業務

担当業務で最も多かったのが、「給水・給食」で35.3%、次いで「手荷物預かり・返却」が17.3%、「コース沿道整理」が14.9%の順であった(図6)。

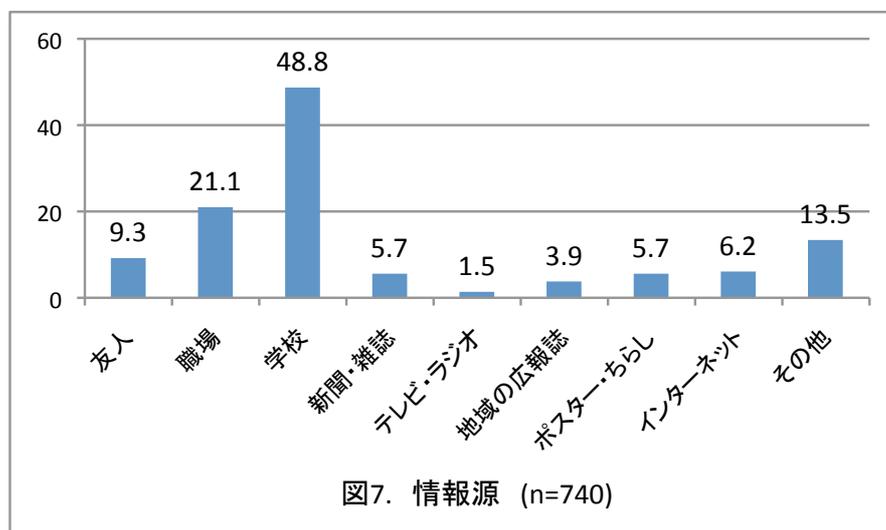
沿道での活動は「給水・給食」と「コース沿道整理」で合計すると50.2%であった。その他は主にスタート地点、フィニッシュ地点の活動で49.8%であり、沿道での活動とスタート・フィニッシュ地点の活動はほぼ半数ずつであった。



### 3) 情報源

「ボランティアの情報を何で知りましたか？」の問いに、当てはまる番号すべてに○をつけてもらった。「学校」が48.8%で最も多く、次いで「職場」が21.1%、「友人」が9.3%であった(図7)。

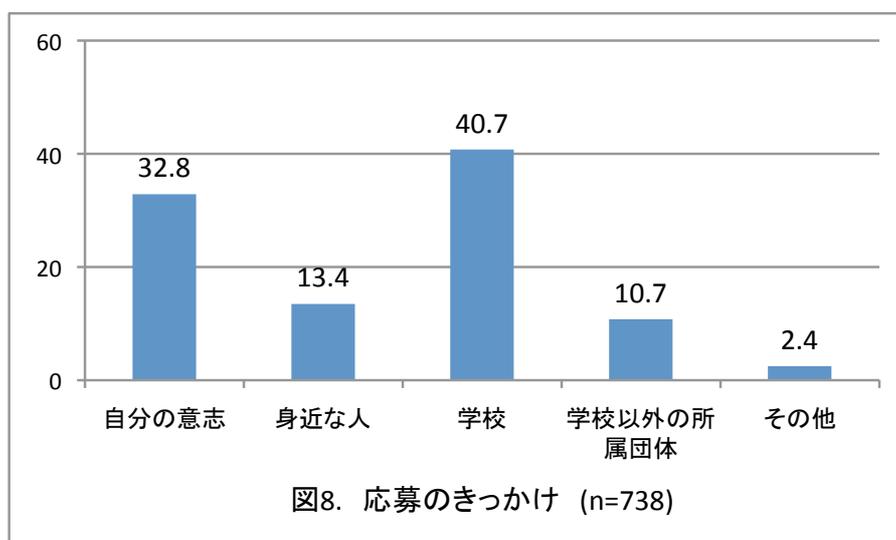
新聞、テレビ、インターネットなどのマスコミによる情報よりも、口コミでの情報の方が多かったことが伺える。また、「その他」も13.5%と多かったが、「その他」の記述欄には「昨年も参加したから」という記述が多かった。



### 4) 応募のきっかけ

「ボランティアの応募のきっかけになったものは何ですか？」の問いに、当てはまるもの1つを回答してもらった。「学校から」が40.7%で最も多く、次いで「自分から」が32.8%、「身近の人から」が13.4%であった(図8)。

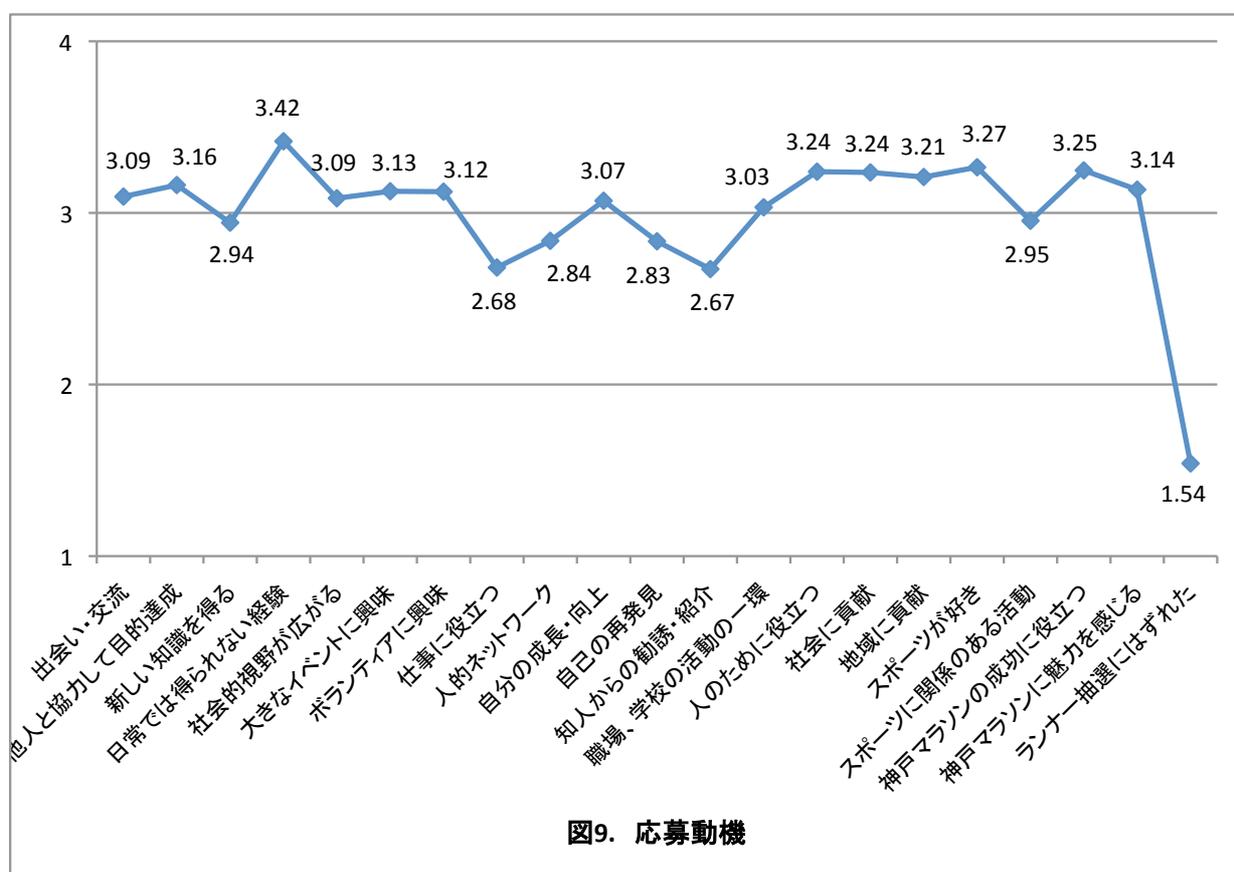
ボランティアのおよそ3割が自発的な参加者であり、周囲からの勧めがきっかけとなり参加している者がほぼ倍の6割程度であった。学生ボランティアの多くは学校(教員など)から勧められて参加したことが推察できる。



### 5) ボランティアへの応募動機

ボランティアに応募した動機 21 項目を「1.当てはまらない 2.あまり当てはまらない 3.まあ当てはまる 4.非常に当てはまる」の 4 つの中から回答してもらった。平均値が最も高かったのは「日常では得られない経験ができる」が 3.42、次いで「スポーツが好き」が 3.27、「神戸マラソンの成功に役立つ」が 3.25、「人のために役立つ」が 3.24、「社会に貢献できる」が 3.24、「地域に貢献できる」が 3.21 で高い値を示した。逆に、「ランナー抽選にはずれたから」は 1.54、「知人からの勧誘・紹介」は 2.67、「仕事に役立つ」は 2.68 と低い値を示した（図 9）。

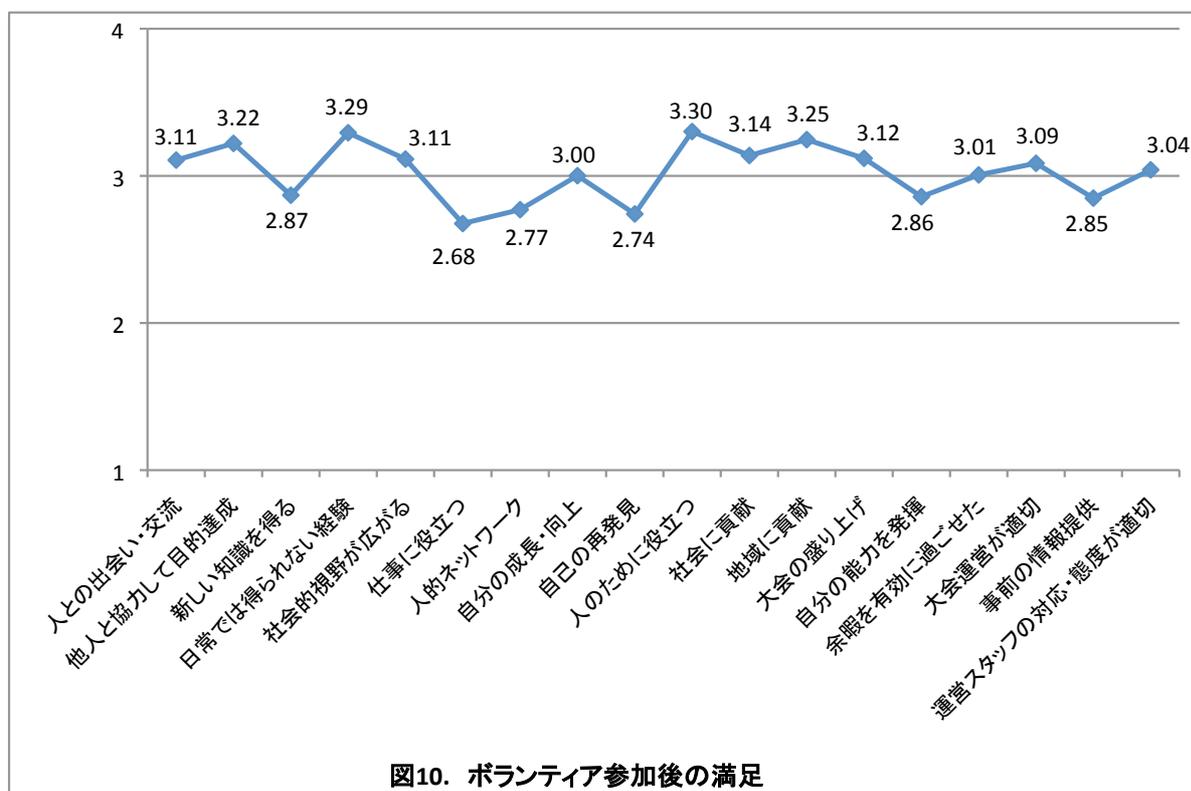
この結果から、「非日常」「スポーツ」「役立つ」「貢献」など、非日常の経験ができることや大会の成功、地域・社会に貢献したいという反応が高かった。一方で、「ランナー抽選にはずれた」と「キャリア」に関する項目は低い値を示した。



## 6) ボランティア参加後の満足

ボランティア参加後の満足 18 項目の項目について「1.当てはまらない 2.あまり当てはまらない 3.まあ当てはまる 4.非常に当てはまる」の4つの中から回答してもらった。平均値が最も高かったのは「人のために役立った」が 3.30、次いで「日常では得られない経験ができた」が 3.29、「地域に貢献できた」が 3.25、「他人と協力して目的を達成できた」が 3.22 で高い値を示した。逆に、「仕事に役立った」が 2.68、「自己の再発見につながった」が 2.74、「人的ネットワークがつけられた」が 2.77 で低い値を示した（図 10）。

動機と同様に、「非日常」「役立つ」「貢献」の項目で高い満足度を示し、「キャリア」の項目での満足度は低かった。また、「運営への評価」の3項目（「大会運営が適切であった」「事前の情報提供」「運営スタッフの対応・態度」）のうち、「事前の情報提供」の項目だけ 2.85 と低かったことから、事前説明会やホームページなどでの情報提供を的確にすることが今後の課題であると思われる。

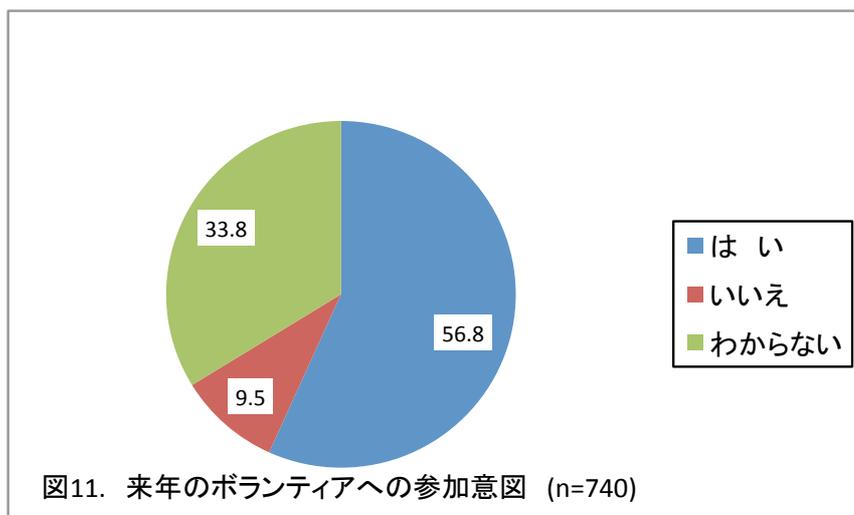


### 3. 次回大会への参加意図と昨年の活動状況

#### 1) 来年の神戸マラソンボランティアへの参加意図

来年の神戸マラソンボランティアへの参加意図を「1.はい 2.いいえ 3.わからない」の3つの中から回答してもらった。「参加したい」が56.8%、「参加したくない」が9.5%、「わからない」が33.8%であった（図11）。

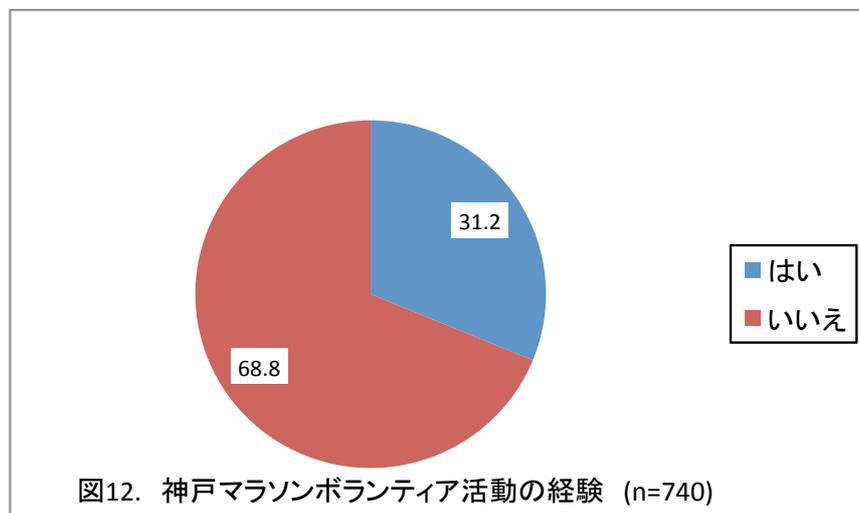
今回の調査対象となったボランティアの半数以上が来年も参加したいと回答していたが、逆に約1割の参加者は、来年は参加したくないと回答していた。また、3割強の参加者は次回参加の可否を保留している。この3割強の参加者をどのようにして参加したい意図をもたせるかが今後の課題であり、活動を通じて継続意欲がわくようなボランティア活動となるよう内容を充実させていくことが重要である。



#### 2) 昨年の神戸マラソンボランティア活動の経験

昨年の神戸マラソンボランティア活動の経験を「1.はい 2.いいえ」で回答してもらった。昨年も参加した人が31.2%で、今回が初めての参加であった人が68.8%であった（図12）。

3割強が昨年に引き続きの参加であるが、この割合を増やしていくことが重要である。前項の再参加意図と同じく、一度経験した活動を通じてさらに継続意欲がわくようなボランティア活動となるよう内容を充実させていくことが重要である。リピーターが増加することは、その経験などからボランティア活動の質を高めることにも繋がりやすく、好循環が期待される。

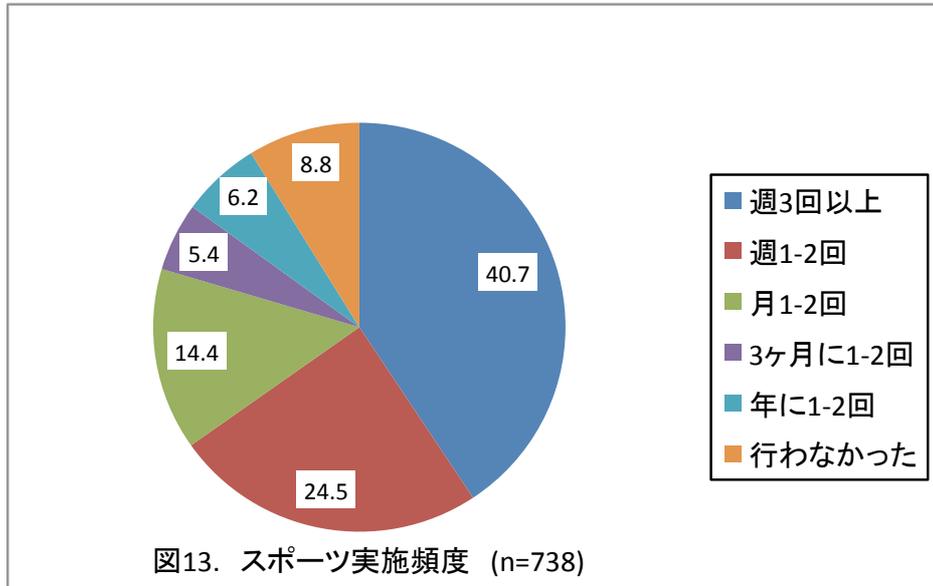


#### 4. スポーツ活動状況

##### 1) スポーツ実施頻度

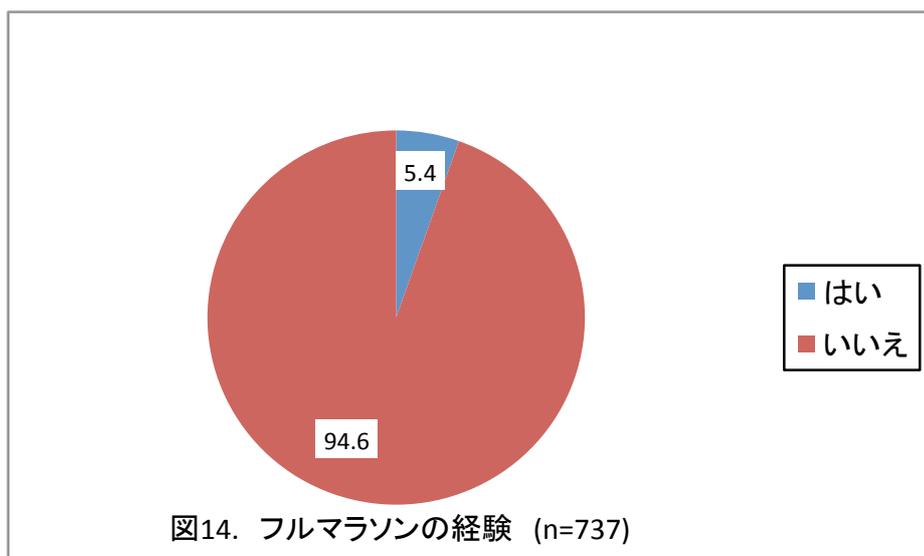
「週に3回以上」と回答した人が40.7%、「週に1-2回」が24.5%で、週1回以上の定期的実施者が65.2%で、非常にアクティブな人々であることが推測される。「行わない」と回答した人は8.8%であった（図13）。

今回のボランティアの6割強が週1回以上スポーツを行っていることから、日常生活でスポーツを積極的に取り入れたライフスタイルが明らかになった。



##### 2) フルマラソンの経験

フルマラソンの経験者は参加者全体の5.4%であり、少ないことが明らかになった（図14）。



## 5. 満足度のクロス集計結果

### 1) 満足と性別

満足の項目を性別でクロス集計した（図 15）。その結果、18 項目中 15 項目で女性の平均値の方が高い値を示したことから、女性の方が男性より満足度が高かったことが伺えた。そのうち 7 項目で有意な差がみられた。特に、「人との出会い・交流」「他人と協力して目的達成」「日常では得られない経験」「余暇を有効に過ごせた」の 4 項目では 0.1%水準で有意差がみられた。

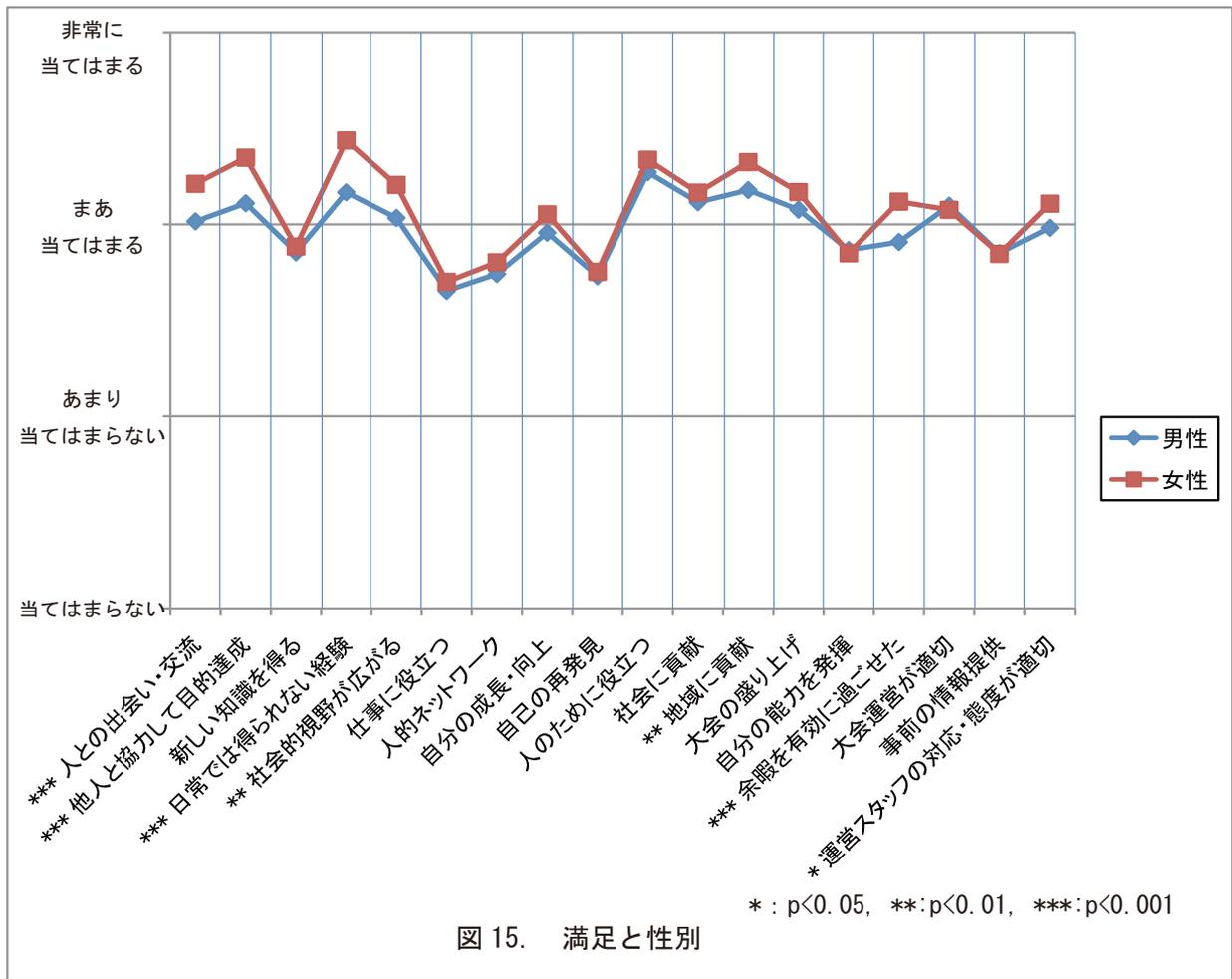


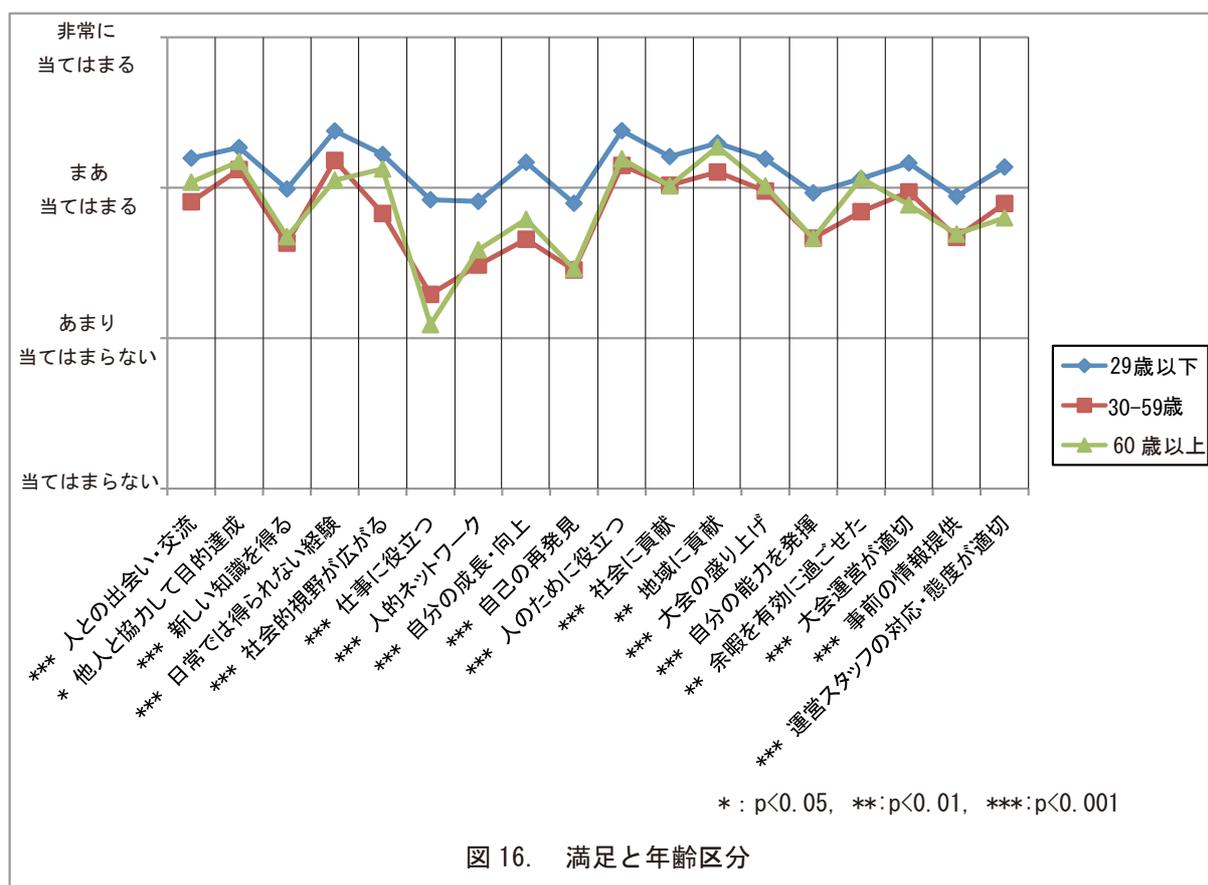
図 15. 満足と性別

## 2) 満足と年齢区分

満足の項目を年齢区分でクロス集計した（図 16）。年齢区分は「20 歳未満」「20-29 歳」を「29 歳以下」とし、「30-39 歳」「40-49 歳」「50-59 歳」を「30-59 歳」に、「60 歳-69 歳」「70 歳以上」を「60 歳以上」に区分した。「29 歳以下」は 475 名、「30-59 歳」は 183 名、「60 歳以上」は 81 名であった。

その結果、18 項目中 17 項目で「20-29 歳」の平均値が最も高い値であったことから、若年層の満足度が高かったことが示された。また、全項目で 5%水準で有意差がみられた。特に、「キャリア」「自己陶冶」に関連する因子で大きな差がみられた。

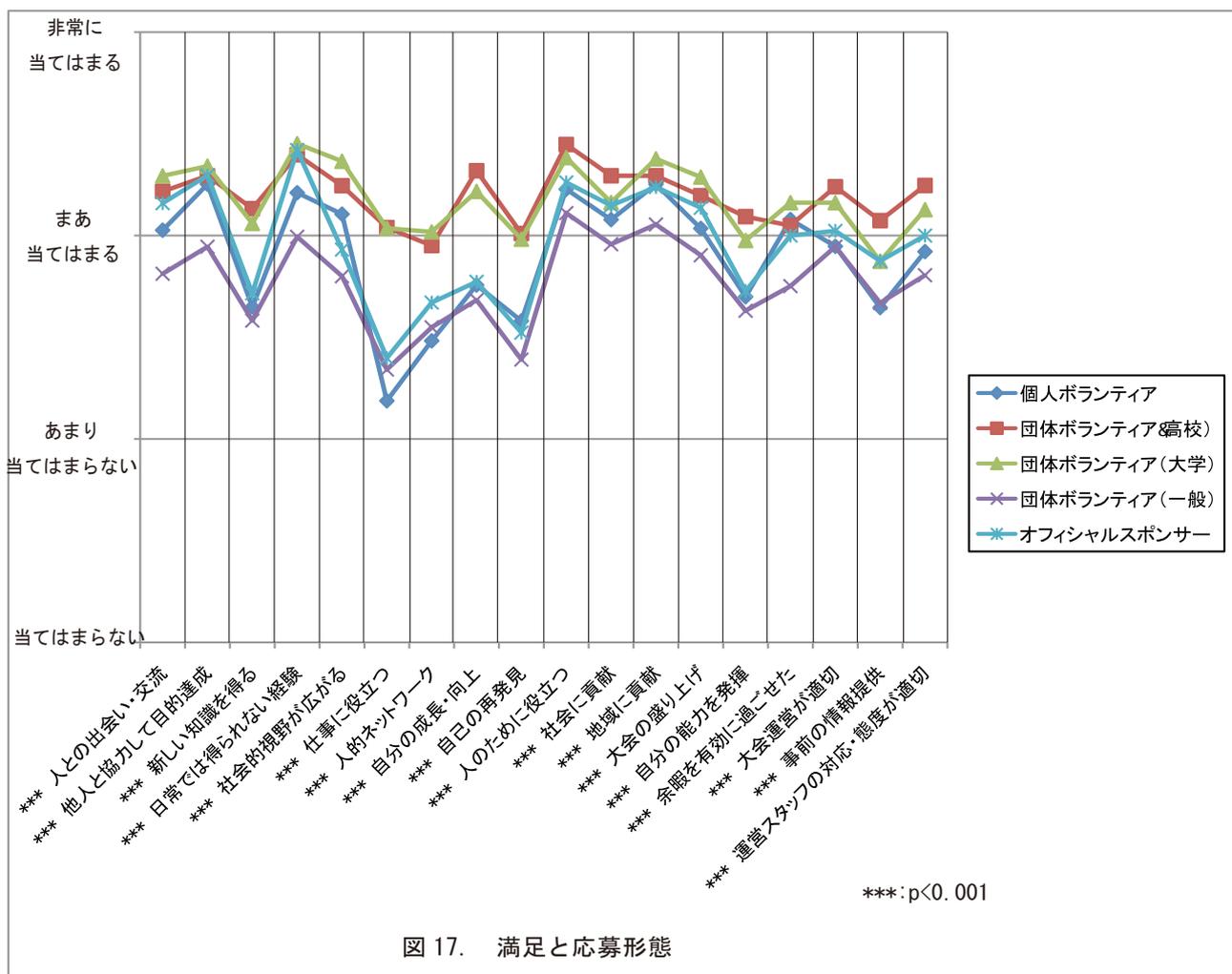
一方で、「30-59 歳」と「60 歳以上」は似たような傾向を示してはいるが、18 項目中 12 項目で「30-59 歳」の平均値が最も低い値であったことから、「30-59 歳」の層の満足度が一番低かったことが示された。



### 3) 満足と応募形態

満足の項目を応募形態でクロス集計した（図 17）。その結果、18 項目中全ての項目で「団体ボランティア（高校）」の平均値が高い値を示し（「団体ボランティア（高校）」=10 項目、「団体ボランティア（大学）」=8 項目）、全ての項目で 0.1%水準で有意差がみられた。前項の年齢区分と同様に、若年層群の満足度が高かったことと関連していると思われる。

一方で、18 項目中 15 項目で「団体ボランティア（一般）」の平均値が最も低い値であったことから、「団体ボランティア（一般）」の満足度が低かったことが示された。



#### 4) 満足と再参加意図

満足の項目を再参加意図でクロス集計した(図18)。その結果、18項目中全ての項目で、「はい」と回答した次回も参加意図のある群が高い値を示した。そのうち、「仕事に役立った」以外の17項目で、0.1%水準の有意差がみられた。

一方で、18項目中17項目で「いいえ」と回答した次回は参加意図のない群が最も低い値であったことから、次回参加意図のない群の満足度が低かったことが示された。

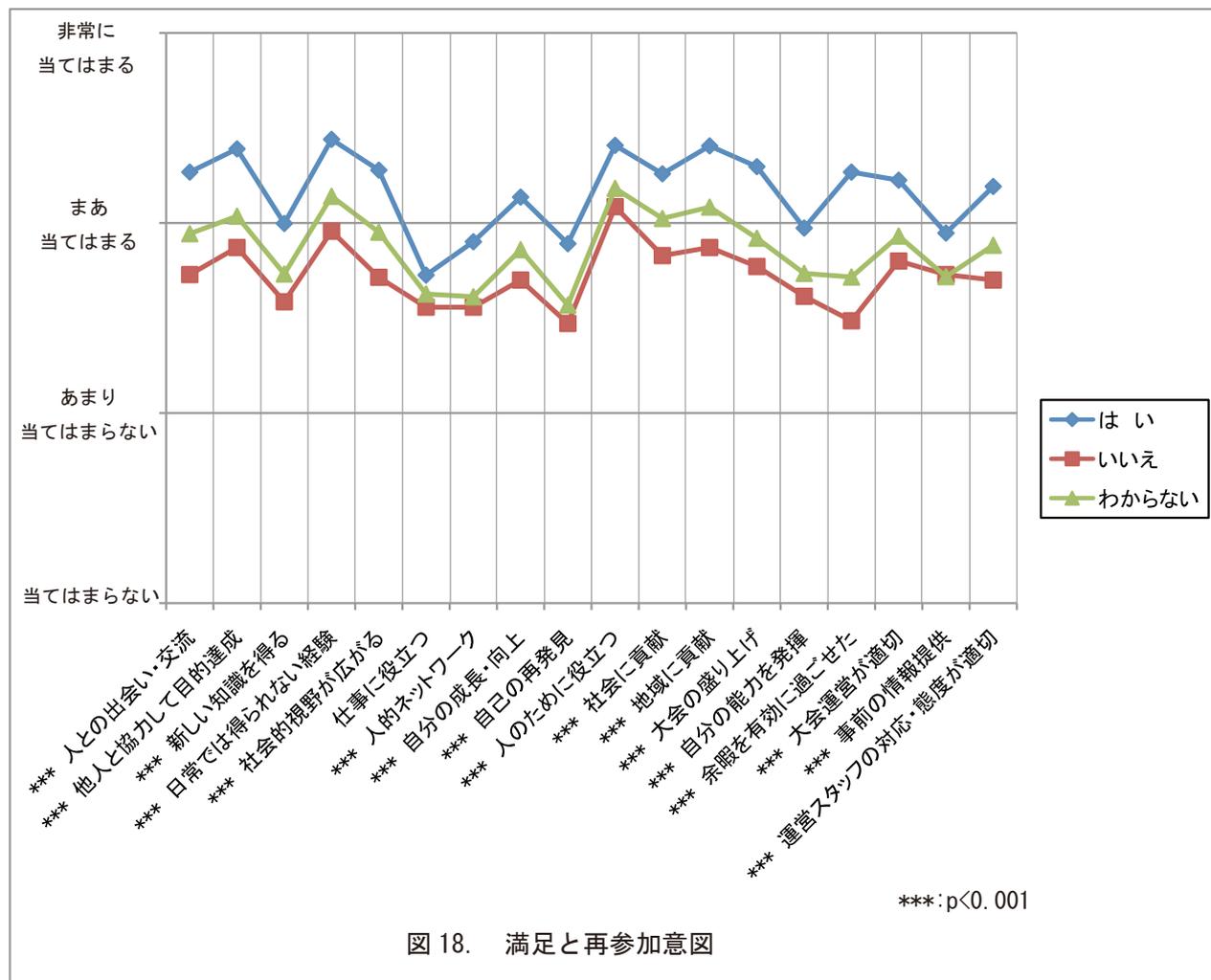


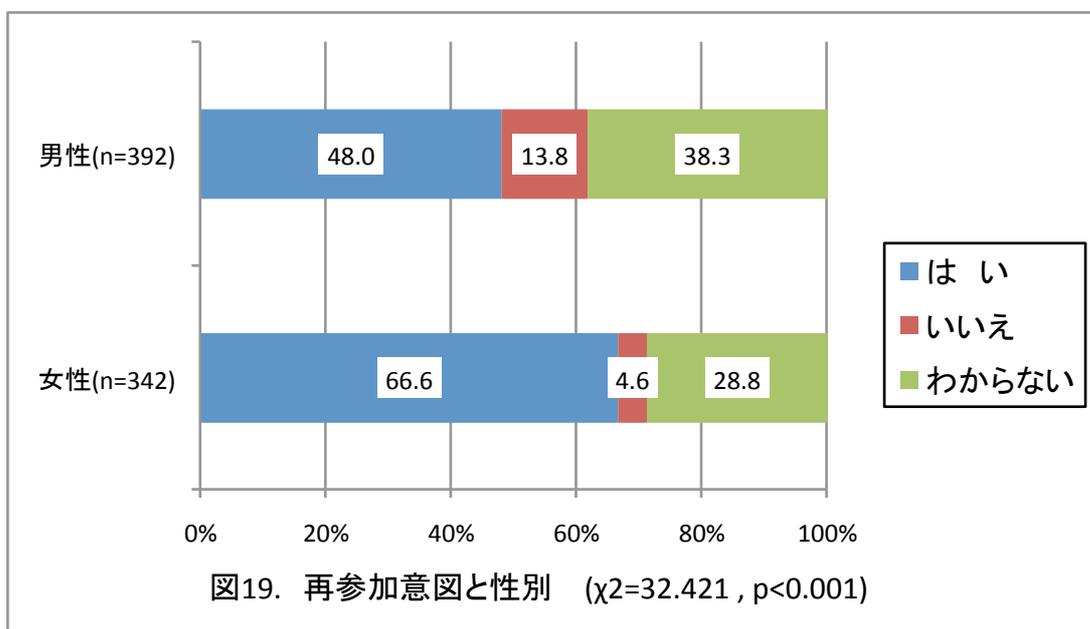
図 18. 満足と再参加意図

## 6. 再参加意図のクロス集計結果

### 1) 再参加意図と性別

再参加意図を性別でクロス集計した(図19)。「はい」と回答した再参加意図のある人は、「女性」が66.6%、「男性」が48.0%で、女性の方が多かった。また、「いいえ」と回答した再参加意図のない人は、「男性」が13.8%、「女性」が4.6%で、男性の方が多かった。統計的にも、性別において0.1%水準で有意差がみられ、女性の方が男性より再参加意図をもった人が多かったことが示された。

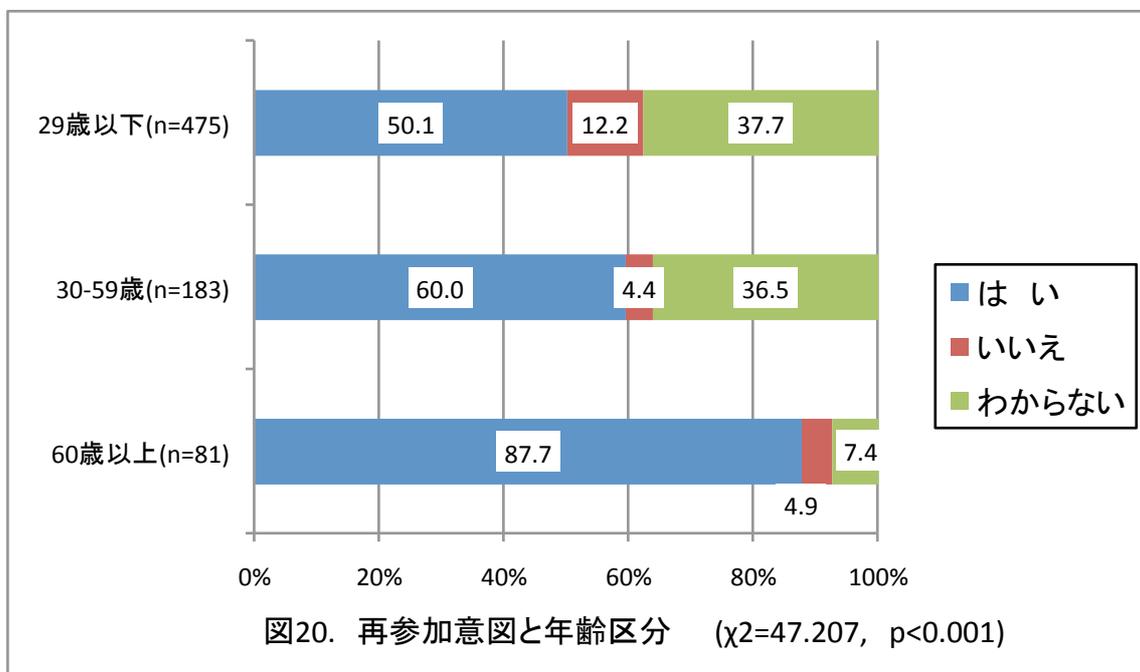
満足度において、女性の方が男性より満足度が高かったことから、それが再参加意図にも反映されていることが推察される。



## 2) 再参加意図と年齢区分

再参加意図を年齢区分でクロス集計した(図20)。「はい」と回答した再参加意図のある人は、「60歳以上」が87.7%、「30-59歳」が60.0%、「29歳以下」が50.1%で、年齢の高い層の方が再参加意図が多かった。また、「いいえ」と回答した再参加意図のない人は、「29歳以下」が12.2%、「60歳以上」が4.9%、「30-59歳」が4.4%で、「29歳以下」が最も多かった。年齢区分での集計では、0.1%水準で有意差がみられ、年齢の高い層が年齢の低い層より再参加意図をもった人が多かったことが示された。

「29歳以下」の満足度は最も高かったが、再参加意図は最も低く、「60歳以上」の満足度は低かったにも関わらず、再参加意図は高かった。年齢区分において、満足度は再参加意図に反映していなかった。



### 3) 再参加意図と応募形態

再参加意図を応募形態でクロス集計した(図 21)。「はい」と回答した再参加意図のある人は、「個人ボランティア」が 72.4%、「団体ボランティア(大学)」が 65.3%と再参加意図をもつ割合が多かった。また、「いいえ」と回答した再参加意図のない人は、「団体ボランティア(高校)」が 16.7%で最も多かった。応募形態での集計では、0.1%水準で有意差がみられ、「個人ボランティア」と「団体ボランティア(大学)」で再参加意図をもった人が多く、「団体ボランティア(高校)」では再参加意図をもたない人が多いことが示された。

「団体ボランティア(高校)」の満足度は最も高かったが、再参加意図は最も低く、満足度は再参加意図に反映していなかった。その要因として、表 1 に応募動機を応募形態でクロス集計したものを示した。「職場、学校の活動の一環である」の項目で、「団体ボランティア(高校)」が最も高い値を示していることから、純粹にボランティアに参加したい学生と学校の活動の一環で参加している学生が混在していることが考えられる。したがって、満足度は高かったものの、次回の参加意図とは結びつかなかった可能性が推察される。さらに、「ボランティアに興味がある」の項目でも、大学生の平均値が 3.44 であるのに対し、高校生は 3.01 であることから、大学生と高校生の再参加意図に違いがみられた要因の一つと考えられる。

前項の年齢区分で、若年層の満足度は再参加意図に反映していなかったが、高校生の再参加意図が低かったことがその要因であると考えられる。

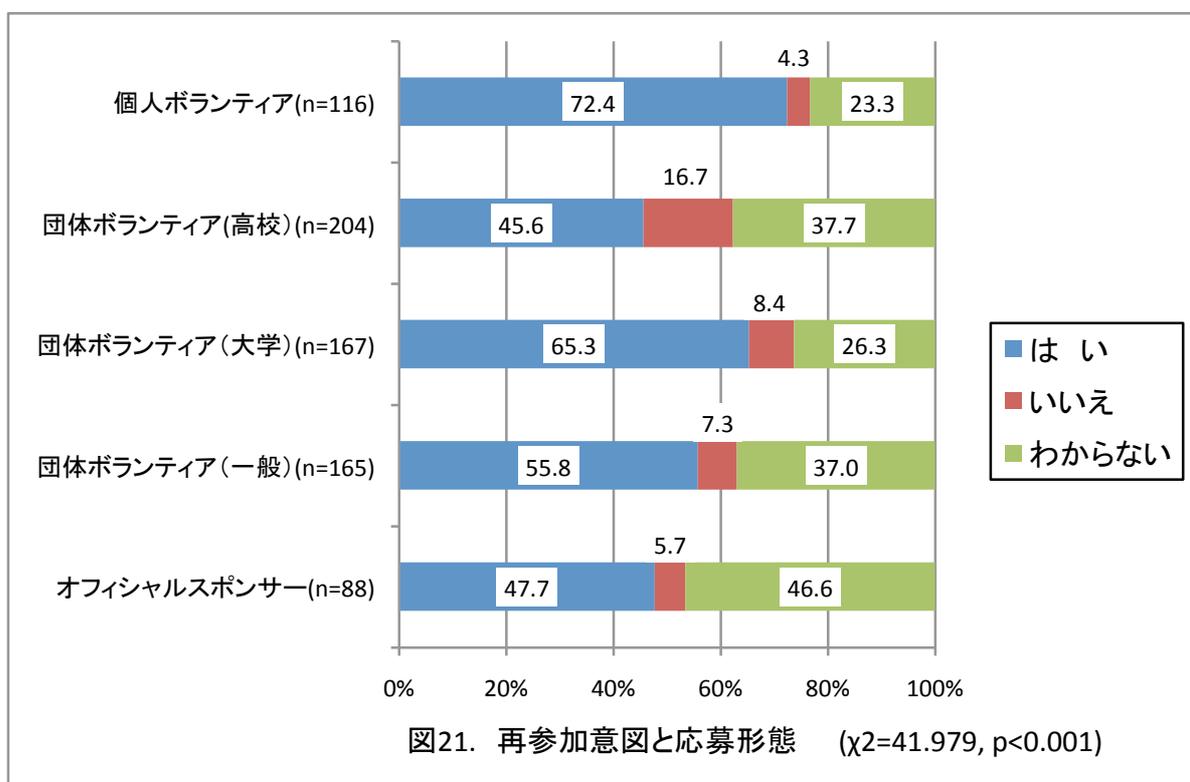


表1. 応募動機と応募形態

	個人ボラ	団体ボラ(高校)	団体ボラ(大学)	団体ボラ(一般)	オフィシャル	有意差
出会い・交流	3.24	3.11	3.17	2.95	3.02	**
他人と協力して目的達成	3.31	3.23	3.27	2.97	2.99	***
新しい知識を得る	3.11	3.07	2.98	2.78	2.67	***
日常では得られない経験	3.55	3.49	3.57	3.09	3.40	***
社会的視野が広がる	3.15	3.17	3.25	2.87	2.89	***
大きなイベントに興味	3.21	3.19	3.26	2.87	3.08	***
ボランティアに興味	3.37	3.01	3.44	2.96	2.75	***
仕事に役立つ	2.39	2.99	3.02	2.35	2.34	***
人的ネットワーク	2.64	2.93	3.07	2.74	2.63	***
自分の成長・向上	3.12	3.25	3.29	2.73	2.83	***
自己の再発見	2.85	2.95	3.01	2.63	2.60	***
知人からの勧誘・紹介	2.05	2.58	2.89	2.96	2.75	***
職場、学校の活動の一環	1.65	3.55	3.25	3.10	3.07	***
人のために役立つ	3.33	3.26	3.30	3.17	3.10	n.s.
社会に貢献	3.23	3.32	3.27	3.18	3.10	n.s.
地域に貢献	3.35	3.20	3.23	3.13	3.17	n.s.
スポーツが好き	3.25	3.58	3.20	3.06	3.07	***
スポーツに関係のある活動	2.98	3.24	2.90	2.77	2.69	***
神戸マラソンの成功に役立つ	3.47	3.25	3.14	3.22	3.19	**
神戸マラソンに魅力を感じる	3.42	3.11	3.13	3.01	3.08	***
ランナー抽選にはずれた	1.74	1.67	1.48	1.49	1.19	***

\*: p<0.05, \*\*: p<0.01, \*\*\*: p<0.001

## 資料 「ボランティア活動を終えての感想」(自由記述法)

(性別、年齢)

### 個人ボランティア

#### ○ 満足群

##### 楽しかった

- ・楽しかった。(40歳代、男性)      ほか3名
- ・業務自体は適切で楽しかった。(20歳代、男性)
- ・当日はリーダーの指示のもとで楽しくできた。(50歳代、女性)
- ・天候にも恵まれ楽しく活動できた。(50歳代、女性)

##### 充実感

- ・時間的にも早く終わり、充実感があった。(60歳代、女性)
- ・身近にランナーが見られて感動した。荷物の受け渡しもスムーズに行うことができた。(60歳代、女性)
- ・少しは役に立てて満足。(50歳代、男性)
- ・いつもは走る側だが、ボランティアもとても素晴らしいと思った。(20歳代、男性)
- ・マラソンの抽選に落ちたが、少し貢献できてよかった。(40歳代、男性)
- ・良かった。(20歳代、男性)
- ・思い通りにできた。(60歳代、男性)

##### 貴重な経験

- ・貴重な体験ができた。ボランティアに参加して良かった。(20歳代、女性)
- ・とても良い経験ができた。(20歳代、女性)
- ・有意義な参加ができた。(50歳代、女性)

##### 協力・交流

- ・皆さんと協力し合って行動することができた。(20歳代、女性)
- ・団体で一つのことを成し遂げられてよかった。(30歳代、女性)
- ・大きなイベントにはたくさんの人の力が必要だと実感した。(40歳代、女性)

##### スタッフ・リーダー

- ・リーダーが丁寧で仕事がやりやすかった。(30歳代、女性)
- ・リーダーの感じが良くうれしかった。(60歳代、女性)
- ・スタッフ、ボランティアの方、お疲れ様でした。(50歳代、男性)

##### 次回も参加

- ・次回もボランティアに参加します。関係者の皆様お疲れ様でした。(60歳代、女性)
- ・来年も参加したい。(60歳代、女性)

## ●不満足群

### 集合時間

- ・集合時間が早い。(60 歳代、女性)      ほか5名

### 事前情報

- ・説明会と当日で異なる部分が多かった。(20 歳代、女性)
- ・事前の説明と異なる内容があった。(60 歳代、男性)
- ・足切り者と棄権者に関する説明が事前と当日で異なっていた。(50 歳代、女性)
- ・最初の事前説明が順を追っていない。(70 歳代、男性)

### スタッフ・リーダー

- ・リーダーのスキルがもう一歩。(70 歳代、女性)
- ・リーダーとは思えない行動や態度の人が目立った。(60 歳代、男性)
- ・リーダーはもっと自覚を持って行動するべき。(20 歳代、女性)
- ・スタッフからの説明もなく、当日「あなたはリーダーになっている」と言われた。(60 歳代、女性)
- ・警備員が地理をあまりわかっていなかった。(30 歳代、女性)

### 運営

- ・前回の反省点が生かされていない。(50 歳代、男性)
- ・長時間立ちっぱなしは大変。活動場所をかんがえてみては。(60 歳代、女性)
- ・2日間8時間もの案内は大変。(70 歳代、女性)
- ・仕事の内容によって体力の限界を感じた。仕事内容を事前に確認すればよかった。(70 歳代、女性)
- ・更衣室の案内係がわかりにくい。(60 歳代、男性)
- ・できれば希望の場所で活動したかった。(40 歳代、女性)      ほか1名

### トイレ・ゴミ箱等

- ・トイレに手洗い場がなかった。(50 歳代、男性)
- ・トイレの数が足りない。(20 歳代、男性)
- ・女性専用トイレが少ない。(20 歳代、男性)
- ・トイレの列整理をするためのツールが必要。(40 歳代、男性)

### ボランティア

- ・人数が多すぎて緊張感がない。(60 歳代、男性)
- ・ボランティアの個人個人の自覚が足りない。(60 歳代、女性)
- ・ボランティアに飲料が用意されていないのは不満。(30 歳代、女性)
- ・ボランティアで昼食が用意されていないのはおかしい。(60 歳代、女性)
- ・荷物預かりのトラックに関する質問が多かった。(50 歳代、女性)

## ○ 意見・要望群

### 集合時間

- ・ 集合から作業開始の時間が長すぎる。(60 歳代、男性)

### 事前情報

- ・ 事前説明会で、どのボランティアを担当するのか教えてもらいたい。(30 歳代、女性)
- ・ 事前説明会を平日夜にして欲しい。ID チェックのクレジットカードの所に「写真付き」と明記して欲しい。(40 歳代、女性)

### スタッフ・リーダー

- ・ 集合場所で早い判断ができる人が欲しい。(60 歳代、女性)
- ・ 本部、スタッフ、ボランティアの連絡の一本化を進めるべき。(50 歳代、男性)

### 運営

- ・ スタート地点への案内板があったほうが良い。(40 歳代、女性)
- ・ 会場内に案内図と方向指示板がもっとあると良い。(30 歳代、女性)
- ・ 完走証、記録の後日郵送をパンフレットに明記すべき。(20 歳代、女性)
- ・ 手荷物預かり、更衣所周辺の整理が必要。(40 歳代、男性)
- ・ 通訳を希望するか聞いたほうが良い。(40 歳代、男性)
- ・ ゼッケンの下に番号があることを知らない人が多かった。荷物返却がスムーズになるので看板などで情報を。(20 歳代、女性)

### 給水・給食

- ・ 給水所での飴の数が足りない。(60 歳代、女性)
- ・ 給水はスポーツドリンクのほうが良い。(30 歳代、女性)

### トイレ・ゴミ箱等

- ・ トイレの数をさらに増やせばスムーズに運営できる。(40 歳代、女性)
- ・ トイレに順番をつけてほしい。(60 歳代、男性)
- ・ ゴミ箱と手洗い場が欲しい。(60 歳代、男性)
- ・ ゴミ箱の設置を多くしてほしい。(40 歳代、女性)

### 更衣室

- ・ 更衣室の案内を大きく表示してほしい。(60 歳代、女性)
- ・ 更衣室を広くしたほうが良い。(40 歳代、男性)
- ・ 更衣室のカーテンをもう少し長くすれば中が見えない。(20 歳代、女性)
- ・ 障がい者用更衣室の使用中空室かを外から分かるようにしてほしい。(50 歳代、女性)
- ・ 更衣所使用後の帰りの表示を分かりやすくしてほしい。(60 歳代、女性)

### ボランティア

- ・ 昼食や水が欲しい。ボランティアの人数はもう少し少なくてもいい。(20 歳代、女性)

## 団体ボランティア（高校）

### ○ 満足群

#### 楽しかった

- ・楽しかった。(20歳未満、男性) ほか8名
- ・疲れたけどやりがいがあって楽しかった。(20歳未満、男性)
- ・やりがいがあって楽しかった。(20歳未満、男性)
- ・いろんな経験ができて楽しかった。(20歳未満、男性)
- ・近くで見ることができて楽しかった。(20歳未満、女性)
- ・お礼を言ってくれたことが嬉しかった。(20歳未満、女性)
- ・ありがとうと言われたことが何より嬉しかった。(20歳未満、女性)
- ・陸上部だったので陸上関係のボランティアができて嬉しかった。ランナーを近くで応援できたので良かった。(20歳未満、女性)

#### 充実感

- ・完走できた人に「お疲れ様でした」と言えて気持ち良かった。ほかのボランティアにも活かしていきたい。(20歳未満、男性)
- ・たくさんランナーの人たちに声をかけることができてよかった。(20歳未満、男性)
- ・今回のボランティアで様々なことを学べた。(20歳未満、男性)
- ・いつか神戸マラソンに参加したいと思った。(20歳未満、女性)
- ・ボランティアを積極的に行えてよかった。また参加したい。(20歳未満、男性)
- ・去年に比べてうまくことを運べて良かった。(20歳未満、男性)
- ・いろんなことが分かった。(20歳未満、男性)
- ・とても良かった。(20歳未満、男性)
- ・みんな頑張って走っていたので良かった。(20歳未満、男性)

#### 貴重な経験

- ・貴重な経験になった。(20歳未満、女性)
- ・給水のボランティアをしていて忙しかったが、大変いい経験になった。(20歳未満、男性)
- ・とても貴重な経験ができて良かった。走っている方からたくさんの元気を頂いた。(20歳未満、女性)
- ・人の役に立てて良い経験ができた。(20歳未満、男性)
- ・全員で協力して仕事のできたので良い経験になった。(20歳未満、男性)
- ・初めてのボランティアで良い経験ができた。(20歳未満、男性)
- ・とても良い経験になった。(20歳未満、男性)
- ・多くの人と交流ができ、とても良い経験になった。(20歳未満、男性)
- ・とても貴重な経験ができて良かった。(20歳未満、男性)
- ・良い経験になった。(20歳未満、男性)
- ・初めての体験でとても貴重な体験ができた。(20歳未満、男性)
- ・いろいろな人の力でマラソンが成り立っていると思うので勉強になった。良い機会だった。(20歳未満、男性)
- ・これからの生活に役立てられるよう頑張りたい。(20歳未満、男性)

## 貢献

- ・ 社会に貢献できて良かった。(20歳未満、男性)
- ・ 疲れているのに、どのランナーも「ありがとう」といってくださり新鮮だった。社会貢献できて良かった。(20歳未満、男性)
- ・ 貢献できて嬉しい。(20歳未満、男性)
- ・ 神戸マラソンに貢献できた。(20歳未満、男性)
- ・ 人のためになることができて良かった。(20歳未満、男性)      ほか5名
- ・ しんどかったけど人の役に立てて良かった。またこの経験を通じて人の役に立てる行動をしたい。(20歳未満、男性)
- ・ たくさんのことが身につき、人の役に立ててよかった。これからもボランティア活動に取り組んでいきたい。(20歳未満、男性)
- ・ ランナーのために役に立てて良かった。(20歳未満、男性)
- ・ 人の役に立てて良かった。また機会があればやりたい。(20歳未満、男性)

## 協力・交流

- ・ いろいろな人と交流できて、良い経験になった。(20歳未満、男性)
- ・ いろんな人と交流できて良かった。またやりたい。(20歳未満、男性)
- ・ やりがいのある仕事で社会的な交流をたくさんすることができた。(20歳未満、男性)
- ・ いろんな人との交流があったり、将来役立つと思った。また機会があればもう一度やりたい。(20歳未満、男性)
- ・トラックの人がとても親切で楽しくできた。(20歳未満、男性)
- ・トラックの人たちと協力できたのが良かった。(20歳未満、男性)
- ・人々とのふれあいができたうえ自己の向上にもつながる良い機会になった。(20歳未満、男性)
- ・皆さん頑張っていてとても素敵だった。一致団結して作業が行えて良かった。(20歳未満、男性)

## 感動・感謝

- ・ 障害者の人たちも参加していてみんな頑張っている姿に感動した。(20歳未満、女性)
- ・ ありがとうと言ってくれて良かった。(20歳未満、女性)      ほか3名
- ・ しんどいのに笑顔でありがとうと言ってくれる方が多かった。気遣いができる大人になりたい。(20歳未満、男性)

## ●不満足群

### 集合時間

- ・朝の集合が早くてしんどかった。(20歳未満、男性)

### 給水・給食

- ・給水でスポーツドリンクがないことが残念そうだった。(20歳未満、女性)
- ・紙コップの柄を統一してほしい。バームのコップに水は勘違いする人が多かった。(20歳未満、女性)
- ・バームの紙コップは間違えてダメだと思う。(20歳未満、女性)

### ボランティア

- ・しんどかった。(20歳未満、男性)      ほか6名
- ・荷物が重かった。(20歳未満、男性)
- ・くつがびちょびちょ。(20歳未満、男性)
- ・去年と比べて余分が多かった。(20歳未満、男性)

## ○意見・要望群

### 運営

- ・人の配分をきっちりすべき。(20歳未満、女性)
- ・ドリンクを奥からとるように事前に言っておいてほしい。(20歳未満、男性)

### ボランティア

- ・給料がほしい。(20歳未満、男性)

## 団体ボランティア（大学）

### ○ 満足群

#### 楽しかった

- ・楽しかった。(20歳代、女性)     ほか4名
- ・楽しかった。来年も参加したい。(20歳未満、女性)     ほか2名
- ・楽しかった。声が出なくなって大変だったが良い経験ができた。(20歳未満、女性)
- ・楽しかった。頑張ることは素敵だなと感じた。(20歳代、女性)
- ・楽しかった。良い経験ができた。(20歳未満、男性)
- ・大変な時もあったがとても楽しかった。体を動かしたくなった。(20歳代、女性)
- ・なかなか大変だったが楽しかった。(20歳未満、男性)
- ・ランナーの笑顔を見ることができてとても楽しかった。(20歳代、女性)

#### 充実感

- ・充実した一日だった。(20歳未満、男性)
- ・楽しく充実したボランティアだった。ランナーの方から元気もらった。(20歳代、女性)
- ・昨年より深く関わることができて嬉しかった。(20歳代、女性)
- ・疲れたが、やりがいがあった。(20歳代、男性)
- ・ランナーの走り終わった後の笑顔が良かった。(20歳代、男性)

#### 感動・感謝

- ・ランナーからのありがとうが嬉しかった。良い経験ができた。(20歳未満、女性)
- ・ありがとうと言ってくれて嬉しかった。(20歳未満、女性)
- ・ランナーの方がありがとうと言ってくれて、とても嬉しかった。(20歳未満、女性)
- ・ランナーの方々が笑顔でありありがとうと言ってくれて、逆に元気もらった。(20歳未満、女性)
- ・ランナーからありがとうを言ってもらい、参加して良かったと感じた。(20歳未満、女性)
- ・たくさんの人にありがとうを言われて嬉しかった。先輩ともたくさん交流できて楽しかった。来年も参加したい。(20歳未満、女性)
- ・ランナーからありがとうと言ってもらえて、嬉しかった。(20歳代、女性)
- ・「頑張ってください」「ありがとう」この当たり前の声かけがすごく嬉しかった。(20歳未満、女性)
- ・ランナーの「ありがとう」の一言や頑張っている姿に励まされた。(20歳代、女性)
- ・ランナーからのありがとうが嬉しかった。人とのつながりを感じ、今後も大切にしたい。(20歳代、女性)
- ・ありがとうと言われることがこんなにも嬉しいことだと初めて知った。(20歳代、女性)
- ・元気もらった。(20歳代、女性)     ほか3名
- ・ランナーの方から元気もらった。参加して良かった。(20歳未満、女性)
- ・ランナーから元気もらった。来年も参加したい。(20歳代、女性)
- ・ランナーの人から元気もらった。私も走りたくなるボランティアだった。(20歳代、女性)
- ・ランナーから逆に頑張ると言われて、とても元気もらった。(20歳代、女性)
- ・ランナーの人を元気づけているつもりが、逆に元気もらった。(20歳代、女性)
- ・ランナーの頑張りを見て感動した。(20歳代、女性)

- ・ 一生懸命走る人たちを見て、もっと挑戦したり努力しようと思った。(20 歳代、女性)
- ・ 一生懸命完走しようとする姿を見て勇気づけられた。(20 歳代、女性)
- ・ 頑張っている人の姿を見て励まされた。(20 歳代、女性)
- ・ 応援している私が勇気をもらえた。(20 歳代、女性)

#### 貴重な経験

- ・ 良い経験ができた。(20 歳代、男性)
- ・ たくさんのボランティアと貴重な体験ができて良かった。(20 歳代、女性)
- ・ なかなか経験することのできない活動ができて良かった。(20 歳代、女性)
- ・ 人の温かさを感じて、良い経験になった。(20 歳代、女性)

#### 協力・交流

- ・ いろいろな人と関わることができて良かった。友達もでき素晴らしいものとなった。(20 歳代、女性)
- ・ いろいろな人と関わることができて、良い経験となった。(20 歳代、女性)
- ・ 人と関わる中で、とても良い経験ができた。(20 歳未満、女性)
- ・ 人と人とのつながりを感じることができた。(20 歳代、女性)
- ・ 人との交流ができて楽しかった。(20 歳代、女性)
- ・ 人と触れ合う楽しさを感じることができた。(20 歳代、女性)
- ・ 知らない人と関わることで、良い経験になった。(20 歳代、女性)
- ・ 初対面の人とも仲良く協力できた。(20 歳代、女性)
- ・ ランナーと応援している人が一体となっていて、とても気持ち良かった。(20 歳代、女性)
- ・ ランナーの人達と楽しむことができて良かった。(20 歳代、女性)
- ・ ボランティア参加者がみな積極的に行動し、応援できていて良かった。私も一緒に頑張れた。(20 歳代、女性)

#### 次回も参加

- ・ また来年も参加したい。(20 歳代、女性)
- ・ とても良いボランティアだった。来年も参加したい。(20 歳代、女性)

#### スポーツ

- ・ スポーツって最高！(20 歳代、女性)

## ●不満足群

### スタッフ・リーダー

- ・ スタッフの言うことがバラバラで作業に支障があった。(20歳代、男性)

### 運営

- ・ はっきりしたことがきまっておらず、うまく進まなかった。(20歳代、女性)
- ・ 情報の伝達不足があった。(40歳代、女性)

### ボランティア

- ・ 予想以上に疲れた。(20歳代、男性)

## ○意見・要望群

### スタッフ・リーダー

- ・ 区長があまり理解しておらず、連絡不足を改善すべき。(20歳代、女性)

### 給水・給食

- ・ 給食と給水の並び方を考えるべき。(20歳代、女性)                   ほか1名
- ・ 給水、給食に関して改善すべき。(20歳未満、男性)
- ・ トマトや梅、ティッシュがあつたらいい。(20歳未満、女性)
- ・ みかさが乾燥しない方法を考えるべき。(20歳代、女性)

### トイレ・ゴミ箱等

- ・ ちりとりが必要である。(20歳代、女性)
- ・ ちりとりとゴミ箱、スタッフ用のゴミ箱がほしい。(20歳代、女性)

### ボランティア

- ・ ハイタッチをしたかった。(20歳代、女性)
- ・ ボランティアの人数をもっと欲しい。(20歳代、女性)
- ・ 段ボールを開ける方法を考えるべき。(20歳代、女性)
- ・ ボランティアの服がほしい。(20歳未満、女性)
- ・ 三宮からバスを出してほしい。(20歳代、女性)

## 団体ボランティア（一般）

### ○ 満足群

#### 充実感

- ・ 楽しく仕事できて良かった。(20歳未満、男性)
- ・ 神戸マラソンに気持ち良く参加させてもらった。(20歳未満、男性)
- ・ わずかな時間だったが、少しでも役立つ事が出来た様に思えた。(50歳代、男性)

#### 経験

- ・ 普段できないような経験ができた。(20歳未満、男性)

#### スポーツ

- ・ マラソンって素晴らしい。(20歳代、男性)

### ● 不満足群

#### 事前情報

- ・ スタート地点での役割について詳しく教えてほしかった。(60歳代、女性)
- ・ ボランティアに対してもう少し説明がほしかった。(20歳代、女性)
- ・ 途中で変更があった場合の説明がなかった。(50歳代、女性)
- ・ 誘導が一部内容と違った。(20歳未満、男性)      ほか1名
- ・ スタッフやランナーの情報伝達が出来ていない。(20歳未満、男性)

#### スタッフ・リーダー

- ・ 本部スタッフの知識不足。(40歳代、女性)

#### 運営

- ・ 運営側の準備不足が気になった。(40歳代、男性)
- ・ 案内板が少なかった。(30歳代、女性)
- ・ クォーターマラソンの荷物預け場所がスタートからあまりにも離れている。(60歳代、男性)
- ・ 近隣マンションへの侵入が迷惑。(50歳代、女性)
- ・ そんなに人手が必要ないところに配置してもムダな気がする。(20歳代、男性)
- ・ 一般客に対する通行規制の周知が不十分な施設があった。(50歳代、男性)

#### トイレ・ゴミ箱等

- ・ トイレとゴミ箱が少ない。(30歳代、男性)      ほか2名

#### ボランティア

- ・ サプリメントを素手で渡すのは良くない。(70歳以上、男性)
- ・ カートン開封に必要なカッターがない。給水ボトルの量が多すぎる。(70歳以上、男性)
- ・ 寒かった。(50歳代、女性)

## ○ 意見・要望群

### 事前情報

- ・ 時前にマラソン運営の情報がほしい。ID チェックをもっとしっかりしてほしい。(30 歳代、女性)
- ・ 情報提供、内容をシンプルに。(60 歳代、男性)

### スタッフ・リーダー

- ・ スタッフ同士の意見をまとめてほしい。(60 歳代、女性)

### 運営

- ・ 次回はもっと組織立ったスムーズな運営を期待する。(60 歳代、男性)
- ・ エリア内に家族・友人を入れるか入れないかはっきり明記してほしい。エリア内に自転車で入るときは押して歩くのを徹底してほしい。(40 歳代、男性)
- ・ 地下への出入り口にもロープが必要だと思った。(40 歳代、女性)
- ・ 立ち入り禁止の案内板があれば良かった。(40 歳代、女性)

### トイレ・ゴミ箱等

- ・ スタート近くのトイレの増設希望。(70 歳以上、女性)
- ・ ゴミ箱を増やしてほしい。(50 歳代、男性)      ほか 2 名
- ・ ゴミ箱の設置場所を知らせてほしい。(40 歳代、女性)
- ・ ゴミ収集所の明示がほしい。ゴミの分別の表示がほしい。(70 歳以上、男性)

### ボランティア

- ・ 個人ボランティアの拘束日数・時間を軽減してあげてほしい。(40 歳代、男性)
- ・ コンビニの場所や駅へのルートの地図がほしい。(30 歳代、女性)
- ・ よくある質問は Q&A をまとめてボランティアに渡しておくべき。(40 歳代、女性)
- ・ ケースを開封するカッター必要。各ブロックに落とし物問い合わせの案内所が必要。(70 歳以上、男性)
- ・ ウインドブレーカーが小さい。(40 歳代、男性)

## オフィシャルスポンサー

### ○ 満足群

#### 楽しかった

- ・ 楽しめたので、来年もぜひ参加したい。(20歳代、女性)
- ・ 応援よりも参加できた実感があり、とても楽しめた。(20歳代、女性)

#### 充実感

- ・ 楽しい有意義な時間を過ごせました。(50歳代 女性)
- ・ 有意義だった。今後も神戸マラソンに関わっていきたい。(20歳代 男性)
- ・ 給水活動において、第一回大会よりも運営面で大幅に改善された。(40歳代、男性)
- ・ 昨年と比べて、運営がスムーズだった。(40歳代、男性)
- ・ 去年の反省点が改善されていて、素晴らしいと思った。(30歳代、女性)
- ・ 第一回よりも問題点が解決されて、スムーズな活動ができた。(40歳代、男性)
- ・ 神戸マラソンに参加できたことを誇りに思う。(20歳代 男性)
- ・ このマラソン大会で、神戸の町が元気になっていけたらと思う。(30歳代、女性)
- ・ 一丸となって達成できる喜びを肌で感じることができ良かった。(20歳代 男性)

#### 感動・感謝

- ・ ランナーからの「ありがとう」が聞けて、気持ちよかった。(40歳代、女性)
- ・ ランナーと感動を共有できてとても良かった。(40歳代、女性)
- ・ 感動を共有できて良かった。来年も是非参加したい。(20歳代、女性)
- ・ 感動を頂けるボランティアでした。(20歳代、女性)
- ・ ランナーと触れ合うことで元気がもらえ、有意義な時間だった。(20歳代、女性)

## ●不満足群

### 事前情報

- ・ マニュアルと当日の指示が違っていた。(20 歳代、男性)

### 運営

- ・ 活動場所に一般の方が入ってこられて危ない。(30 歳代、女性)

### ボランティア

- ・ 向かいの別のボランティアのやる気のない態度が不愉快だった。(30 歳代、女性)
- ・ タオルの搬入口が遠く、拘束時間が長い。(20 歳代、女性)
- ・ コップに入れるスポーツドリンクの量が多かったように思う。(20 歳代 女性)

## ○ 意見・要望群

### スタッフ・リーダー

- ・ 指揮系統に乱れがありました。事前の打ち合わせをしっかりと。(20 歳代、女性)
- ・ 指示を適切にしてほしかった。(50 歳代、女性)
- ・ 曖昧な指示ではなく、はっきりとした指示をするべき。(40 歳代 女性)

### 運営

- ・ 給水の配膳方法や片付け時のカート指示などが混乱。指示を統一してほしかった。(30 歳代、女性)
- ・ ゴミ分別の有無の決定。給食内容の吟味。疲れを取るスプレーの用意。(50 歳代、女性)
- ・ ゴミの仕分けを徹底した方がより良くなる。(50 歳代、女性)

### 給水・給食

- ・ 給食の内容など、ランナーから意見聴取してみてもどうか。(20 歳代、女性)
- ・ 給水を何らかの方法で分散するべき。(20 歳代、男性)

### ボランティア

- ・ 次回の大会は、声掛けが出来ればと思っています。(30 歳代 男性)
- ・ ランナーへの「応援」に戸惑います。(50 歳代 男性)
- ・ トイレについてのマニュアルを作ってほしい。(20 歳代、男性)

### その他

- ・ 地域を盛り上げる為に、同日に複数のイベントを開催してほしい

『神戸マラソン 2012』  
ボランティアに関する調査報告書  
(Research report on a study of volunteers at Kobe Marathon 2012)

2013 年 2 月発行

編集 兵庫体育・スポーツ科学学会  
ひょうご地域スポーツ振興プロジェクト  
「神戸マラソン 2012 ボランティア調査グループ」

発行 神戸マラソン実行委員会